

【学校教育目標】 夢に向かって挑戦し、自信と誇りを持つ子どもの育成 ～自分で考え、考えを伝え合い、共に高め合う人へ～

- 【めざす生徒像】
- 将来の夢や希望をもち、目標達成に向けて実行する生徒
 - 深く考え、自ら進んで学ぶ生徒
 - 自分を律し、他を尊重し、他と協力する生徒

目標設定力

目的共有力

主体性

協働性

計画力

継続力

対話力

折合力

※身に付けさせたい資質・能力

ために
共に高め合う
両輪

【基盤】

- 向上する意欲
- 知識・技能
- 学級の支持的風土
- 袋ブランド「挨拶・返事・服装・掃除・時間」

【基盤をつくる教師の姿勢等】

- 生徒理解（特別支援教育の視点）と生徒の人権尊重（人権感覚）
- 「認め・ほめ・励まし・伸ばす」関わり
- 自他を高める教師の「主体性」と「協働性」

すべての教育活動（授業・生徒会活動・日常生活等）で

生徒（生徒会テーマ「善力前進～互いのために行動し、仲間と共に進化し続ける袋中生～」）、
家庭、保小、地域、教育委員会との共有・連携

「主体性」を
支える

目標設定力

問う、課題を見出す、理想を描く

計画力

見通す（解決の道筋や方法を考える）

継続力

やってみる、続ける、振り返る

「協働性」を
支える

目的共有力

思いや願い・課題を分かち合う、
同じ方向を向く

対話力

考えを伝え合う、受け入れる、
改善策を出し合う

折合力

話を整理する、妥協点を見出す、
取組を決定する